

大志を抱き、未来へー 三島中学校卒業式





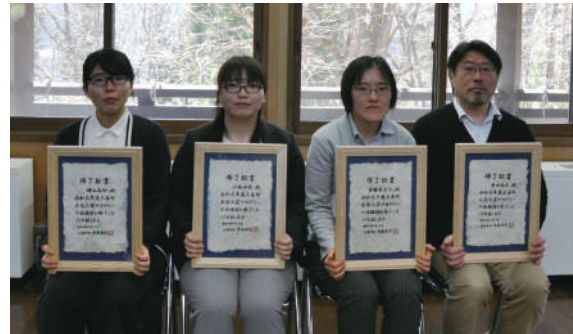
完成した大石田集会所

地区活性化の拠点に 大石田集会所落成式

大石田集会所落成式は2月29日、新築された集会所で開催されました。大石田区長をはじめ、矢澤町長、地区役員ら約60人が出席しました。式では五十嵐清人区長より「地区住民の念願であった集会所が完成し、大変うれしく思います。住民の憩いの場、また地区活性化活動の拠点となる施設として利用していきたい」とあいさつを述べました。

第3期生4名が全課程を修了 生活工芸アカデミー修了式

生活工芸アカデミー修了式は3月19日、生活工芸館において行われました。式では第3期生4名が矢澤町長から修了証書を受け取りました。受講生あいさつでは、1年間、町で生活した感想やお世話になった講師の方、浅岐地区の方々への感謝の気持ちを伝えました。修了した4名のうち2名は、生活工芸伝承生として町に定住し、生活工芸技術の伝承に努めます。



修了証書を手にする生活工芸アカデミー生の皆さん
(左から) 崎山志帆さん、小林由佳さん、安藤香奈子さん、角田信三さん

議員活動の功績を評価 町議会が町村議会表彰を受賞

町議会が、全国町村議会議長会定期総会において政策づくりと監視機能を十分に発揮している等の全国の町村議会の模範となる活動を行っているとして、町村議会表彰を受賞しました。町議会は人口規模に見合った議員定数の削減を行いながらも、議会機能を十分に発揮してきたことや地区座談会へ全議員が交代で参加し、直接住民の声を聞きそれを政策へ反映させるなどの活動が評価されたものです。



五十嵐議長が県議長会会長より伝達を受けました

令和元年度消防職員定例表彰 三島出張所が団体表彰を受賞

令和元年度消防職員定例表彰式が行われ、会津坂下消防署三島出張所が団体表彰を受賞しました。3月10日、古賀信広所長らが役場を訪れ、矢澤町長に受賞の報告をしました。三島出張所が住宅用火災警報器設置・維持管理をテーマとしたPR動画を企画し、三島小・中学校の子どもたちや保育所の園児らと共に作成した動画をみしまテレビで放映し、防火意識の高揚推進が認められ、この度の受賞となりました。



受賞の報告をする古賀信広三島出張所長(左から2人目)

家族・地域への感謝を胸に 三島中卒業式 12人が巣立つ



三島中学校卒業式は3月13日に行われ、12人が門出を迎えました。関根宏房校長は「自分の夢と目標を胸に、自信をもって堂々と進んでほしい」と式辞を述べました。続いて、佐藤孝信教育長が告辞を述べ「目標は大きい、小さいではありません。持つことが大切です。夢が少しづつでも実現に向かい、突き進んでいけることを心より願っています。」と話しました。「忘れることなんかできない」卒業讃歌「旅立ちの日に」を歌い、新たなスタートを祝いました。

◀希望を胸に、三島中を卒業した12人

大きく成長した6年間 三島小卒業式 10人が中学校へ

三島小学校卒業式は3月23日に行われ、10人が卒業しました。藤田雅也校長は一人ひとりに卒業証書を手渡し、「努力の大切さと感謝の心をいつまでも忘れないでください」と式辞を述べました。児童たちは卒業証書を手にもって中学校での目標を発表しました。その後、佐藤孝信教育長が告辞を述べ「厳しい社会の中でたくましく生きる力を育てるために何事にも挑戦する気持ちを大切にしてほしい」と話しました。また1年生から5年生までの在校生20人がそれぞれ進級しました。

中学校の制服を着て式に臨んだ10人の卒業生▶



保育所生活を終え1年生に 三島保育所満了式 12人が小学校へ



三島保育所満了式は3月28日に行われ、年長児12人が満了しました。大竹真理子所長から満了証書を受け取ると、後ろで待つお父さん、お母さんに「ありがとうございました」と言って満了証書を手渡しました。児童たちは「思い出のアルバム」などを歌い、思い出がたくさん詰まった保育所とお別れしました。保護者の方々は、小学校へと進む我が子の成長した姿を温かく見守りました。

◀大きく成長し、保育所を満了した12人

山口 泰市郎（やまぐち たいいちろう） 協力隊3年目



勤務先：桐の里産業
【業務内容】
農業法人での農業支援

今年度は、水稻・エゴマ・そば・菌床ヒラタケの栽培に取り組みました。水稻栽培の10aあたりの平均反収は6.45俵で、昨年度の約5俵からアップしました。町民の方向けに天のつぶ（30kg 8,000円）の販売を行い、32袋の注文をいただきました。エゴマ栽培では、新たな取り組みとしてエゴマの実とエゴマパウダーの販売を行いました。

また、農地の保全管理として、作付けのできなかった圃場の草刈りを行いました。農業も二年目を迎え、少し流れが分かるようになり、大変さと楽しさを感じながら活動することができました。各地区の皆様のお声がけがとても励みになりました。町民の皆様、ご指導くださった皆様、改めて感謝申し上げます。

これまででは水稻栽培がメインでしたが、来年度はハウスで畑の担当をします。ハウスでは、菌床ヒラタケ・ジャンボインゲン・レタスの栽培を行う予定です。経験がありませんが、畑でもなんとか出荷できるように頑張りたいと思います。



吉垣 絵梨子（よしがき えりこ） 協力隊3年目



勤務先：地域政策課
【業務内容】
移住・定住業務
・空き家バンク管理など

協力隊となり、早いもので2年が経ちました。おかげさまで、ここでの暮らし・仕事を満喫しながら日々過ごしています。いつもありがとうございます。昨年度は空き家対策に力を入れてきました。知識も経験もなく業務に就いたため、様々な研修などに参加し、空き家問題やその対策について学んできました。その中で空き家所有者向けセミナーや広報みしまの空き家コラムなど、町でできそうなことを担当者として相談しながら進めました。空き家に関しては、時代背景や個人の想いなどが絡みあい、一朝一夕には進まないのが現状ですが、今後ますます増えるであろう空き家が『問題化』しないようにしていくことが大切です。今年度は定期的に空き家相談室を開催しますので、お気軽にお越しいただき、空き家について相談できる場が町にあることを皆さんにお伝えしたいです。そして空き家の利活用を通して、人の流れが作り出せるようさらに活動を展開していきたいです。皆さまにアドバイスをいただきながら、進めていきたいと思っていますので、引き続きよろしくお願いいたします。



梅津 汐夏（うめづ きよか） 協力隊3年目



勤務先：観光協会
【業務内容】
観光振興業務・インバウンド対応等

協力隊2年目となり、観光協会で働く中で、来町された方を焦って案内することが少なくなりました。町のPRイベントに参加すると、第一只見川橋梁の景色を知っている人が増えた気がします。協力隊のSNSを任せられてからフォロワーが100人以上増え、その更新の成果だったら嬉しいです。

1人でできる事を何かしてみたいと思い、美サカDecoというイベントを実行してみました。子どもたちに素敵な作品を作ってもらい、多くの方の手助けで1日だけ美坂高原でいろいろ遊べるイベントとなり、想像以上の結果を出すことができました。参加された皆さんには楽しんでもらえたでしょうか？県内の小学生が只見線に乗る「只見線学習列車」という遠足のようなイベントでも、その車内で見どころの案内をしました。他にも町のPRとなるようなデザインをしたり、インバウンドのデータ集計をしたりと観光の手助けとなりそうな活動をしてきました。3年目でも仕事の内容や活動したいことが増えていくと思うので、今後も楽しく活動をしていきたいと思っています。



【令和元年度三島町地域おこし協力隊活動報告】

3月11日に町民センターで開催予定でした令和元年度三島町地域おこし協力隊活動報告会が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたので、広報みしまに各協力隊の活動報告を掲載いたします。令和元年度は、6名の地域おこし協力隊がそれぞれの担当分野で活動していました。紙面上ではお伝えしきれない点もありますが、ぜひご覧ください。また、3月を以って鈴木陽花さんが退任しましたので、併せて報告いたします。

鈴木 陽花（すずき はるか） 協力隊1年（退任）



勤務先：産業建設課
【業務内容】
桐栽培育成管理、桐振興など

昨年9月から、桐栽培育成と桐振興の2つの業務を担当しました。桐栽培育成業務としては、苗の測定や水やり、定植桐の測定や草取り、植栽、冬囲いなどを行いました。桐振興業務としては、道の駅にある桐のPR看板の更新をしたり、桐の普及を目的とした各イベントにスタッフとして参加したりしました。桐の栽培はまさに「ローマは一日にして成らず」で、本当に小まめな手入れが肝心であることを学ぶと同時に、暑さ寒さに自分も負けずに手入れを続けていくことの大変さも感じました。日が浅く、手を掛けただけ戻ってくるということを実感するまでには至りませんでした。気候や風土などの条件に加え、日本一の会津桐を生産するために必要なことを、身をもって知ることができました。また、暮らしの中で人の温かさに触れる機会が多く、とても素敵な町だなと感じました。名残惜しいですが、4月からは南会津町の小学校で教員としての一步を踏み出すことになりました。短い間でしたが、大変お世話になりました。



三澤 龍太（みさわ りゅうた） 2020年2月に着任



勤務先：特命担当課

今年の2月から協力隊として着任して1ヶ月ではありますが、ホームページの記事掲載、広報誌関係の取材、協力隊のFBの更新等ボリュームのある活動内容でした。現在は三島町のホームページの軽量化と見易さの向上に向けた研究や、広報関係の取材に伴って写真撮影スキルの向上に向けた研究等を行っています。どのような方法で情報発信すればより多くの方に三島町を知ってもらえるかを日々研究しながら、第三者の目線に立って考えるのは難しくもありやりがいも感じています。

今後は、町の公式SNSアカウントやYouTube公式アカウントの作成に向けて研究提案をしていき、文字や写真だけでなく動画での情報発信にも力を入れていきたいと考えています。まだまだ知らないことだらけの三島町をより沢山の方々に発信できるように今後も研究し少しずつ反映していけたらと思います。今年度もよろしくお願いいたします。

植村 明恵（うえあむら あきえ） 協力隊2年目



勤務先：会津桐タンス㈱
【業務内容】
桐製品づくりの技術習得、開発及び販売など

早いもので三島町へ来て一年が経とうとしています。五感で感じる全てが初めてのことばかりで毎日ときめきが止まりません。仕事では尺貫法に慣れるという基礎の基礎から始まり筆筭の下拵え板矧ぎ、刃物研ぎ、ものづくりと少しずつ階段を登っていくように仕事を覚えていきます。丁稚のような身でありながら早い段階から、ものづくりに関して様々な事を経験させていただいていることをとても有難く思います。私自身やる気も更に上がっていきました。先輩の真横に作業場を置いていただき、作業の途中に先輩のお仕事を覗き見しては「凄いなあ。格好良いなあ」と一人感激する毎日です。いつか先輩のような技術を身につけられるように一歩ずつ精進していけるように頑張ります。

一年間の出来事を文章では上手くお伝えできませんが、機会がありましたら仕事のことも生活についても沢山お話させていただけたらと思います。今年度もよろしくお願いいたします。





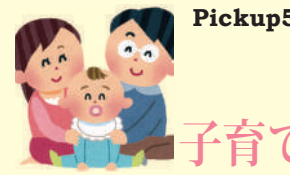
町内循環型の木質バイオマス利用体制の構築と木の駅事業による町内の間伐材等の確保を図ります。また、会津桐の普及啓発活動や施設整備による会津地鶏の生産拡大の検討、農業の担い手育成など、町の根幹となる産業の振興を図ります。

☎ 産業建設課 産業係
(48) 5566



複式学級においても単式学級と変わらない学力の維持・向上のため複式補充教員を2名配置します。また、自分の住む地域への理解を深めるため、総合学習の時間を通し、郷土愛を育むと共に、町の将来を見据えた考え方を育む教育を充実します。

☎ 生涯学習課
(48) 5599



学校給食の完全無償化を実施し、子育て支援の強化を図ります。保育の面では、各年齢に応じた保育士を配置し、低年齢児や年度途中入所にも対応できる保育体制を構築します。また、全年齢児(0～5歳児)の保育料無償化を継続します。

☎ 生涯学習課
(48) 5599



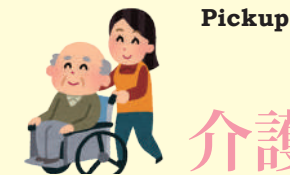
利用可能な空き家の情報発信を強化し、移住の促進を図ります。移住コーディネータによる相談窓口と空き家バンク管理を継続します。また、町営住宅の環境改善による定住の充実を図ります。

☎ 地域政策課 地方創生推進係
(48) 5533
産業建設課 建設係
(48) 5566



防災行政無線デジタル化改修工事や滝谷川と大谷川への監視カメラ設置による災害発生時の速やかな状況把握と迅速な情報発信体制の構築、各地区の防災組織の立ち上げや地区毎の防災計画作成を推進し、自主防災の意識高揚を図ります。

☎ 総務課 総務係
(48) 5511



新規事業の「高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業」として、これまで事業別に実施していた事業を総合的、一体的に実施します。また、高齢者の自立支援や適切な介護サービスが提供できる体制の構築を目指します。

☎ 町民課 保健福祉係
(48) 5565



「目指せ！健康寿命＋10（プラステン）」等の健康増進事業の継続実施と糖尿病性腎症重症化予防プログラムの推進、胃内視鏡検査（胃カメラ）等の健（検）診の充実を推進します。また、幅広い世代で生活習慣病予防の支援を行います。

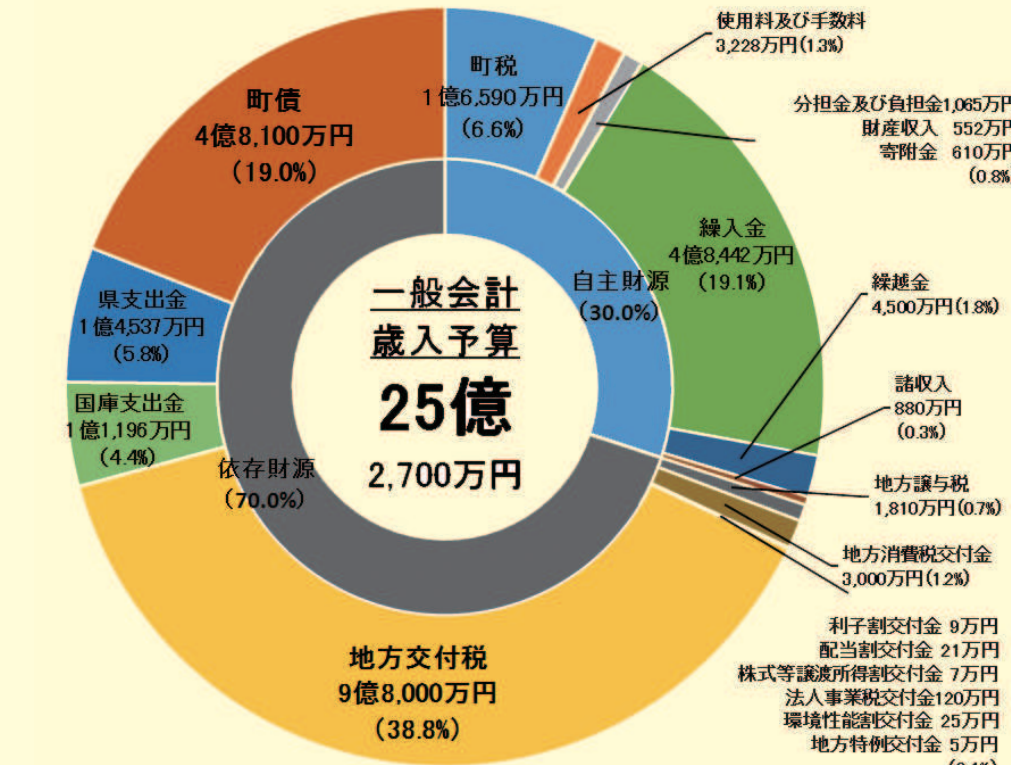
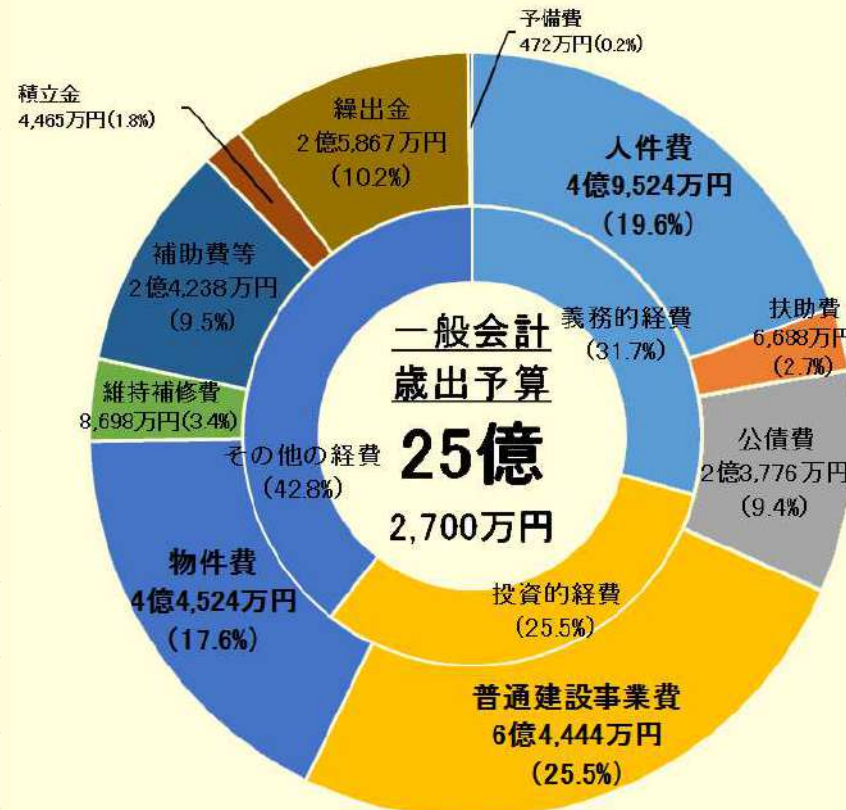
☎ 町民課 保健福祉係
(48) 5565

令和2年度

町の予算

町の一般会計と7つの特別会計の予算が、3月の議会定例会において議決されました。町民の皆さんと町が一体となった協働の町づくりを一層進め、「住みたい、住み続けたいふるさと」を目指します。

主な投資的事業
町民センター耐震改修工事
町民センター耐震改修工事監理
大石田高尾原農道改良工事
中平団地電源改修（2棟）
防災行政無線デジタル化改修工事
防災監視カメラ設置工事
防災備蓄倉庫整備（7台）
三島中学校体育館照明改修
教員宿舍改修（単身用6戸・世帯用2戸）



用語の説明		
●一般会計と特別会計	町の会計には、一般会計と特別会計があります。一般会計は基本的な経費の会計、特別会計は特定の事業を行うために区分した会計です。	
●町税	町民の皆さんに納めていただく税金です。町民税、固定資産税、軽自動車税などがあります。	
●町債	町の借金で、公共施設の建設など、一時的に多額の費用を必要とする場合の財源に充てられます。	
●地方交付税	町の財政力に応じて、国から交付されるお金です。財政力の不均衡をなくし、一定のサービスができるよう、国税（所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税）として国に納められた税金のうち、一定割合の額を地方自治体に配分するものです。	
●国庫支出金・県支出金	町が行う特定の事業に対して、国や県から交付されるお金です。	
●人件費	報酬や給与などです。	
●物件費	賃金、旅費、消耗品費、燃料費などの消費的な経費です。	
●維持補修費	道路や公共施設などを管理するための経費です。	
●扶助費	高齢者、児童、心身障がい者などに支援する経費です。	
●補助費等	町から他の団体などに対して、特定の目的で支払う補助金などです。	
●普通建設事業費	道路や住宅、公共施設などの整備のための経費です。	
●公債費	町の借金を償還する（返す）ための経費です。	
●積立金	財政運営のために積み立てるお金です。	
●繰出金	一般会計から特別会計に出しているお金です。	

令和2年度 会計別予算額		
会計種別	予算額	前年度からの増減
一般会計	25億2,700万円	-1億2,112万円
特別会計	国民健康保険	1億9,559万円 - 2,234万円
	簡易水道	1億9,277万円 + 358万円
	路線バス	3,014万円 + 60万円
	農業集落排水	2,688万円 + 405万円
	介護保険	4億6,372万円 - 531万円
	戸別合併処理浄化槽	4,916万円 + 237万円
	後期高齢者医療	3,441万円 + 246万円
合計	35億1,730万円	-1億3,488万円

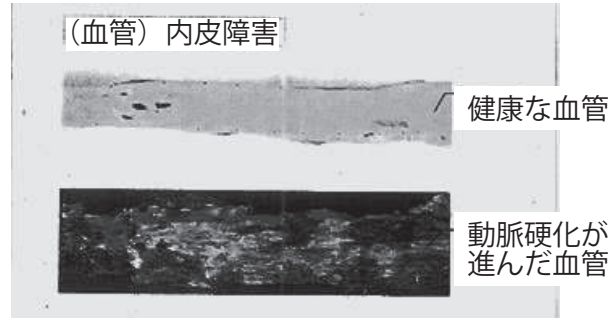
健康で元気な毎日に 6月28日㊤～6月30日㊦は町の総合検診(特定健診・がん検診)です

健診で知っていただきたい、ご自身の体のことがあります。

体の中は、自分の目では確認できません。健診結果からのみ、知ることができます。

健診は健康への第一歩！まずはきちんと健診を受け、自分の体と向き合ってみましょう。

健診でわかる `血管の状態・血液の質、！



三島町の健診では、「微量アルブミン尿」という検査項目を取り入れています。これは、動脈硬化を見ることができる検査です。病院を受診されている方も、町の健診を受けていただくことで、より詳しく血管の状態を知ることができます。

年に1回の健診は生活習慣病（高血圧、糖尿病、高脂血症など）の早期発見、悪化の予防・改善をするために実施しています。自分では自覚できない症状や忍び寄る病気を見逃さないためにも、とても大切な機会になります。また、1人でも多くの方の病気を未然に防ぐことで、皆様の保険料も安くなります。

○特 定 健 診 40歳～74歳の方
身体計測、血圧測定、尿検査、心電図、眼底検査、血液検査、医師による診察

○若 年 健 診 19～39歳の方 ○後期高齢者健診 75歳以上の方

○各種がん検診 肺がん、胃がん、大腸がん、前立腺がん

健診を受けて、元気な毎日を目指しましょう！

町民センター図書コーナー 「ゆめぼけっと」から図書のご案内

図書コーナー『ゆめぼけっと』利用時間
㊤～㊦ 午前9時～午後9時 ㊧㊨㊩ 午前9時～午後5時
※年末年始は閉館いたします。㊰公民館 ☎(48) 5599



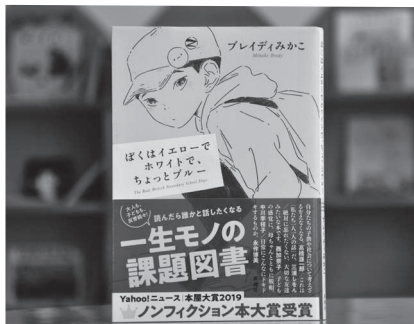
子どもの防犯マニュアル

舟生岳夫：著

子どもを狙った新しい手口の犯罪が次々登場し、スマホの危険性は認識しつつも対策がわからない。そんな不安を抱えた親のために、セコムで長年「子どもの防犯・安全」を研究してきた著者が、子どもが自分で身を守る能力を身につける方法をわかりやすく解説します！

ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー
ブレイディみかこ：著

イギリスの「元底辺中学校」に通う息子との日々を軸に、さまざまな社会問題にも切り込んだエッセイ。多様なアイデンティティをもつ人が共に暮らす中で、互いを尊重しながら生きていくことの難しさを考えさせられます。



☆新着本

磯 野 家 の 相 続
長谷川裕雅：著

老いた家 衰えぬ街
住まいを終活する
野澤千絵：著

中古を買って、リノベーション。
谷島香奈子：著

大 名 倒 産
浅田次郎：著



町民記者通信



伝統を守って 高清水地区の「ひな流し」

文・写真 菅家敏一さん（高清水）

桃の節句に女の子の健やかな成長を祈って行われる「ひな流し」が例年通り、3月4日に行われました。今年は新型コロナウィルス感染拡大防止のため、三島小の児童の皆さんの参加が叶わず、大変残念でした。しかし、東京から地区の方のお孫さん（小学校4年生）が来町しており、ひな人形集めをしてもらうことができました。地区の皆さんそれぞれが願いこめて作られた62体のを流すことができました。小さな地区の行事ではありますが、今後も末永く継続していきたいと思います。



三坂の山から

文・写真 菅家壽一さん（間方）



3月15日、吉垣さん、浅葉さん、鈴木さん、崎山さん、私の5名で三坂山登山を行いました。美坂高原からの登山口付近まで車を入れることができ、公社造林を過ぎたあたりから「かんじき」を履き、ブナとミズナラの美しい林の中を歩きました。ミズナラは、カシノナガキクイムシにやられ立ち枯れて全滅状態です。ゆっくりと歩き2時間ほどで頂上に到着しました。遠くには飯豊山や磐梯山、眼下には、第2鉄橋、宮下や桑原集落が美しく広がります。皆さんも町のシンボル三坂山に登ってみませんか？



西方ふるさとセンターの冬囲い撤去作業

文・写真 本名与四郎さん（西方）

3月21日、ふるさとセンターの冬囲い撤去作業と麻生方面に向かう国道400号線脇のガードレール取り付け作業が行われました。例年に暖冬の影響で雪もまったくなく、天候に恵まれ、小松豊区長さんや地区委員委員6名でスムーズに作業を進め、怪我・事故なく無事に終了することができました



地区総会に向けての監査行われる

文・写真 本名与四郎さん（西方）



3月22日、ふるさとセンターにおいて地区総会に向けての「監査会」が行われました。監査員として、二瓶辰雄さんと北館長一さんによる令和元年度西方地区一般会計、特別会計報告書の収支決算と令和2年度一般会計予算と特別会計予算について正しく執行されているのか、一つ一つの項目について監査を受けました。西方地区一般会計及び特別会計報告・予算案とも適正に会計が行われていることが認められ、その後、1年間の労をねぎらう交流会が催されました。

三島町地域循環共生圏推進協議会の設立



三島町の皆さま、こんにちは。2018年に連載を開始した環境研だよりも3年目を迎え、引き続き皆さまに私たちと三島町が協力して取り組んでいる内容について紹介させていただきますので、よろしくをお願いいたします。

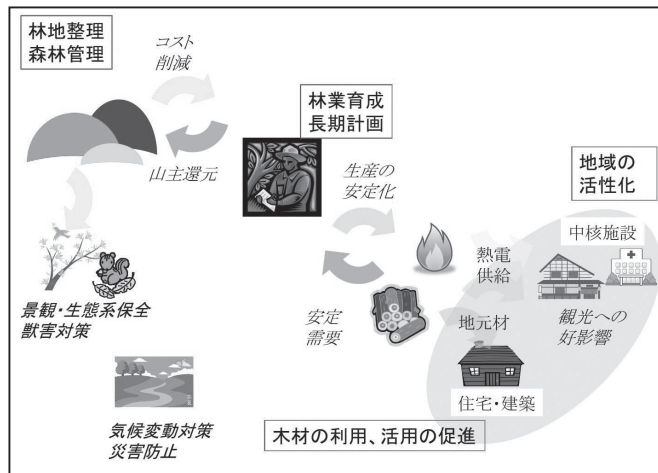
少し前の話題になってしまいますが、「三島町地域循環共生圏推進協議会」の設立総会が1月31日（金）に交流センター山びこで開催されました。この協議会は、町の重要な地域資源である森林の適切な整備・管理を通じて木材の利活用を促進して需要と供給の安定化を図り、地域資源や経済の循環を目指すことを目的として設立されました。

環境研はアドバイザーとして出席させていただきましたが、会員として森林の活用や資源の供給やエネルギーの利活用に関わる町内の様々な事業者の方々が参画されていました。また、総会の後半では、名古屋大学の杉山範子先生より「気候危機の時代の地域からの挑戦」というテーマで記念講演があり、気候変動対策の観点からも三島町の取組が世界的に重要なものになることを教えていただきました。



三島町地域循環共生圏推進協議会設立総会の様子

町ではすでに町内から出た木材を町が買い取る「木の駅事業」を昨年スタートしており、買い取った木材を生活工芸館の薪ボイラー冷暖房システムに利用するエネルギーの地産地消が進められています。



地域循環と連携について

地域循環共生圏については、環境研だよりでも2019年の広報みしま1月号にてご紹介していますので、三島町のホームページより、ぜひご一読ください。そこでは第五次環境基本計画が閣議決定されたことにより新しく掲げられた目標として紹介し、地域循環共生圏を「価値ある地域にて循環し共に生きるまとまり」と説明しておりましたが、こうして三島町にて地域循環共生圏を推進する協議会が立ち上がったことは、その目標に対して大きな一歩を踏み出したのだと感じております。

2月には第1回目となる幹事会が行われるなど、着実に歩みを進めている推進協議会。我々もアドバイザーとして参加させていただきながら、今後の協議会の活動について、この場をお借りしてご報告していきたいと考えております。

< 筆者紹介 >

常盤 達彦（ときわ たつひこ）

花粉の季節です。新型コロナウイルスの影響でマスクが品薄になっており、花粉症の自分は危機的な状況に。最近顔に吹きかける予防スプレーなどがあるので、マスクをなるべく使わないように過ごしたいです。



●国立環境研究所福島支部
地域環境創生研究室 ☎0247 (61) 6572

大正時代、県知事が各郡を巡視するというのは大きな出来事だったようで、明治・大正期の福島県庁文書には大正二年（一九一三）に福島県知事が大沼郡を巡視した際の詳細を記した『大沼郡巡視録』が遺されています。文中には知事の氏名はありませんが、八月二十六日に巡視したとあるので、山形県出身の太田政弘が知事の頃だと推定できます。当日、知事は大沼郡長や北会津郡長の案内により本郷の陶器同業組合事務所で説明を受け、陳列品等を視察したあと、大沼郡役所へ赴き、郡の官吏を集めて訓示を行いました。その後、郡長が大沼郡の概況を知事に対して述べます。

今回はその郡長が述べた内容と、巡視関係書類として同じく綴られていた「大沼郡概況」に書かれた現在の三島町域内に関する事柄を紹介します。

宮下や西方については「本郡中西部及び南会津郡西部各村二ヶケル貨物の集散地トナリ勢ヒ戸数人口等ノ増加ヲ呈スル趨勢」とあり、宮下まで鉄道が延伸する三十年以上も前ですが、既に郡中部における流通の拠点として位置づけられていることがわかります。また「養蚕ノ收穫ハ宮下付近ヲ中心トシテ繭二十四万円ヲ産ミ出ス」ともあり、養蚕が域内で盛んに行われていたことがうかがえます。

交通事情についても述べており、大沼郡東部から現在の三島町を含む中西部に行くには、博士峠・美女峠・銀山峠いずれも車は通れず、迂回しても河沼郡の坂下から柳津を経て宮下に行く方が容易であり、特に冬期間、積雪のある時期にはこの道を選ばざるをえないとしています。また巡視と同月の一日に開業したばかりの岩越線野沢停車場（現西会津町の野沢駅）と、川西村（後に西方村）を結ぶ、川西街道（西方街道）にも言及しており、二年かけて停車場に通じる道を整備したとし、この開通により大登では米一升が一銭安くなったという話があることにも触れています。この道路改修については、郡役所吏員による大正元年の川西村巡視報告においても言及されており、運輸の便の発達による村の発展

大正2年 収穫皆無となった田畑

水害起因				
地目	反別	地価	地租	筆数
田	2603 歩	24 円 250 厘	1 円 125 厘	11
畑	2302 歩	9 円 890 厘	465 厘	8

天候不良起因				
地目	反別	地価	地租	筆数
田	8 町 7822 歩	943 円 270 厘	44 円 335 厘	325
畑	23 町 9206 歩	822 円 410 厘	38 円 655 厘	817

大正2年12月5日「水害及天候不良ニ基因スル收穫皆無地調査報告」（西川村外二ヶ村組合村より大沼郡役所へ提出）より作成。※組合村は後に宮下村

に期待を寄せています。陸路だけでなく水路の交通としては只見川の筏流しについて触れており、岩石が河底に乱立し平常の水量であれば不通にもなる「大根卸シ」（早戸地内）なる難所についても言及しています。

明治以降、特産品となった桐についても産額の総計は不明ながら、西川村（後に他二ヶ村と合併し宮下村）のみでも一年で五千円の収入あるとの話や、昨年暴風により桐が多く倒れたため値段が高騰しているとの記述があります。

なお、巡視が行われた大正二年は全国的に水害や天候不良により凶作となり、現三島町域内においても収穫が皆無となった田畑が多くあった苦難の年となりました。川西村では窮民救済対策として外国米を購入して実売で分配したと、翌年に書かれた凶作に関する報告書に書かれています。

三島町史編さん室

町史編さん室だより

第51回

『大沼郡巡視録』に見る大正初期の三島町



会津坂下警察署からのお知らせ 管内でタイヤ盗が連続発生！

管内では、今年に入り車庫やガレージ内などに保管していたホイール付きタイヤが盗まれる事件が連続発生しています。

【特徴】

- ・道路沿いの車庫などで発生
- ・扉のない車庫や戸締まりをしてない車庫で発生

【対策】

- ・施錠設備のある車庫は、必ず施錠しましょう。
- ・タイヤなどは施錠できる場所に保管しましょう。
- ・センサーライトや防犯カメラなどの防犯機器を取り付け

【不審者を発見したら】

- ・すぐに警察に通報してください。

駐車車両のタイヤが傷つけられる事件も1件発生しています。不審者を見たらすぐ通報！

☎会津坂下警察署 ☎ 0242 (83) 3451



消防署からのお知らせ

山火事・事故等に気をつけましょう！

◆山火事や事故を防ぐために、次のことに注意しましょう。

- ①たばこのポイ捨てはせず、決められた場所での喫煙や携帯灰皿を持参する。
- ②火気を使用する場合は、周囲の可燃物に十分注意するとともに消火用の水等を必ず用意する。
- ③強風時や乾燥時には、たき火・火入れをしない。
- ④入山する際はあらかじめ行き先、ルートを確認し、家族に行き先を伝えておく。
- ⑤天気予報に気を配り、防寒対策を徹底するとともに、無理な入山は控えましょう。

今の時期は、空気の乾燥や季節風あるいはフェーン現象などの気象条件等から、山火事発生の危険性が高い時期となります。山火事は一旦発生するとその消火は容易ではなく、一瞬にして貴重な森林を焼失するとともに、その回復には長い年月と多くの労力を要することとなります。これから暖かくなるにつれ、山に入る機会も多くなりますが、特に、空気が乾いている日や風が強い日にはたき火や野焼きをしないなど、火の取扱いには十分な注意が必要です。

☎会津坂下消防署 三島出張所
—火事・救急・救助は— 電話 (52) 3032
119 番まで FAX (52) 3033

街頭犯罪発生件数（2月29日現在）

区 分	管 内	三島町
空 き 巣	0	0
忍 込 み	0	0
事 務 所 荒 し	0	0
自販機ねらい	0	0
車 上 ね ら い	1	0
強制わいせつ	1	0
街頭犯罪合計	2	0
そ の 他 刑 法 犯 等	2	0
全 刑 法 犯	4	0

○管内では、車上狙いや車庫タイヤが盗まれる窃盗事件が増加しています。鍵のかかる倉庫などに保管し盗難被害防止に努めてください。
その他刑法犯等には、暴行・傷害・万引き・詐欺・器物損壊などの犯罪発生件数が含まれます。
※上記発生件数は、令和2年1月1日からの累計数となっています。

町の人事

◎4月1日付異動

【係長相当職】 ▶産業建設課主任主査兼産業係長

菅 家 直 人（旧：総務課主任主査兼総務係長）

▶総務課主任主査兼総務係長

北 館 亮（旧：産業建設課主任主査兼産業係長）

▶生涯学習課主任主査兼生涯学習係長

秦 一 夫（旧：町民課町民係 主査）

▶町民課主任主査兼町民係長

二 瓶 大 樹（旧：町民課町民係長）

▶地域政策課主任主査兼地域政策係長

五十嵐 義 展（旧：地域政策課地域政策係長）

【係 員】 ▶地域政策課地域政策係 主査 奥会津振興センター派遣

大 竹 重一郎（旧：町民課保健福祉係 主査）

▶町民課保健福祉係 主査

諏 訪 義 徳（旧：地域政策課地域政策係 主査・奥会津振興センター）

▶総務課総務係 副主査

黒 澤 寿 樹（旧：町民課保健福祉係 副主査）

▶町民課町民係 副主査

五十嵐 優（旧：総務課総務係 副主査）

▶地域政策課地方創生推進係 副主査

大 竹 夏 奈（旧：地域政策課地方創生推進係 主事）

皆さんの一票が

町の未来をつくります。

投票日

4/19(日)

告示日 4月14日

三島町議会議員一般選挙

任期満了に伴う三島町議会議員一般選挙は4月14日告示、4月19日投票で行われます。議員の定数は8人です。

町民を代表する議会議員を決める重要な選挙です。皆さんの一票が、町の未来をつくります。棄権しないで投票しましょう。

投票日に投票できない方は、

期日前投票をご利用ください。

◎期 間

4月15日(水)から4月18日(土)

◎時 間

午前8時30分から午後8時

◎場 所

町民センター 談話室

期日前投票は、こんなときにできます。

①仕事、学業などの場合

②結婚式などの場合

③旅行や買い物などに出掛ける場合

④病気、ケガ、出産などの場合

☎三島町選挙管理委員会 ☎ (48) 5511

令和 2 年度 幹部候補生（一般・歯学・薬剤科）及び予備自衛官補募集

募集項目	資格	受付期間	試験期日
幹部候補生（一般）	22 歳以上 26 歳未満の者	3 月 1 日⑩～5 月 1 日⑪	5 月 9 日⑫・10 日⑬
幹部候補生（歯科・薬剤科）	専門の大卒（見込含）で 20 歳以上 30 歳未満の者		5 月 9 日⑫
予備自衛官補	【一般】18 歳以上 34 歳未満の者	4 月 10 日⑭まで	4月18日⑮～4月22日⑯のいずれか1日を指定されます
	【技能】18 歳以上で国家免許資格等を有する者		

応募・問い合わせ：自衛隊福島地方協力本部会津若松出張所
会津若松市門田町大字黒岩字大坪 57-1 ☎ 0242 (27) 6724

6月開講の職業訓練のご案内

■訓練生を募集しています

CAD・NCコース
電気設備技術コース

- 募集期間 3月18日①から5月18日②
- 募集訓練科名 CAD・NCコース
電気設備技術コース
- 募集定員 各15名
- 訓練期間 6月2日から11月30日まで（6ヶ月間）
- 対象者 公共職業安定所に求職登録されている方で、職業訓練の受講が望ましいと判断された方
- 受講料 無料
- 選考日 5月20日③ 午前9時から

■施設見学会（職業訓練って、なに…？）

- 開催日時 4月8日④・4月13日⑤・4月15日⑥・4月20日⑦・4月22日⑧・4月27日⑨
各日ともに午後1時30分から午後3時45分
- 内容 ・今までのキャリア（職業能力）にプラスして、新たな技能習得のための職業訓練について理解していただく説明会で、当センターが実施しています。また、施設見学会当日は、希望される方は訓練体験も受けられます。
・訓練内容について詳しく知りたい方は、最寄りのハローワークからお申し込み下さい
※訓練生募集及び施設見学会に関するお問合せ先
ポリテクセンター会津 訓練課 ☎ 0242 (26) 0520

ご寄附ありがとうございました
滝谷建設工業(株)が町へ寄附

滝谷建設工業(株)は、2月8日に開催された第48回雪と火のまつりの出店売上金を町に寄附しました。3月3日、田中智仁代表取締役社長らが役場を訪れ、矢澤町長に目録を手渡しました。



林業退職金共済制度（林退共）の退職金請求について
林退共は昭和57年に発足した林業界で働く方のための退職金制度です。以前、林業の仕事に従事されたことがあり、その当時、林退共制度に加入していた方で退職金請求手続きをしたお当たりのない方は、退職金をまだ受け取っていない可能性があります。最寄りの支部または本部へお問い合わせください。

問 林業退職金共済事業本部 事業管理課
☎ 03 (6731) 2889

ご寄附ありがとうございました

町へのご寄附（ふるさと納税）

宮 沢 千 恵 様（会津若松市）
佐 藤 源 治 様（会津若松市）
若 松 三 島 会 様（会津若松市）
中 村 都 子 様（京 都 府）
菊 地 登 美 子 様（会津若松市）
町社会福祉協議会へのご寄附
ご遺志によるもの

久 保 田 昭 一 様（間 方）
黒 澤 剛 臣 様（会津若松市）
秦 一 夫 様（大 石 田）

町の人口と世帯

3月1日現在

人口	1,590	-2	出生	1
男	785	-1	死亡	2
女	805	-1	転入	2
世帯	755	-1	転出	3

⑩住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

お悔み申し上げます



久 保 田 テ ル 子 （99才・間 方）
渡 部 キ ヨ ミ （93才・宮 下）
秦 正 信 （75才・大石田）

※掲載を希望される方もされない方も、各種手続き時に『広報みしま掲載同意書』に記載事項を記入していただきます。ご協力をお願いいたします。

問 特命担当課 ☎ (48) 5232

4月の納税【納期限 4月30日】

▼固定資産税（第1期）

▼軽自動車税（第1期）

問 町民課町民係 ☎ (48) 5555
忘れずにお納めください

「労働困りごと相談窓口」のお知らせ

賃金未払い、解雇、退職など労使間のトラブルに関する困りごとや疑問についての相談をお受けします。相談は無料で秘密は厳守します。相談は、平日の面談や電話での相談のほか、FAXや電子メールで随時受け付けています。お気軽にご相談ください。

○受付時間 午前8時～正午 午後1時～午後5時
（土・日・祝日を除く）

問 福島県労働委員会事務局

☎ 0245(21)7594

！ 手 洗 い

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。
外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗います。

正しい手の洗い方



石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。



！ 咳エチケット

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

■ほかの人にうつさないために

くしゃみや咳が出るときは、飛沫にウイルスを含んでいるかもしれません。次のような咳エチケットを心がけましょう。

- ・**マスク**を着用します。
- ・ティッシュなどで**鼻と口を覆います**。
- ・とっさの時は**袖や上着の内側で覆います**。
- ・周囲の人から**なるべく離れます**。



3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



正しいマスクの着用



町長日記

「いま・ここ」の視点を

No. 57

十数年前だったと思います
が、三島町にインターンした若者
と地域の若者が協働で「いま・
ここネット」という組織を立ち
上げ、地域の様々な課題を議論
している姿がありました。5年
程度で解散した記憶があります
が、継続は力なりという観点か
ら、今考えると残念でなりませ
ん。

鎖的悪循環が生じているのが現
実でないかと考えています。
私は、この立場に成らせてい
ただいて強く感じるのは、三島
の町づくりに関する評価は非常
に高いものがあると感じていま
す。多くの町村長さんや学者の
先生は、町づくりの理念であり
ます「自分の足下の泉を掘る」
施策に感動している事は事実で
あります。

この組織の原点は、自分たち
の日常の生活を通して、三島や
只見川流域町村の根っこを掘り
下げながら「自立」の道を探っ
ていくための運動でありまし
た。この組織の斬新さは名称か
らも分かるように「いま（今）・
ここ（場）ネット（連携）」と
いうテーマ性からも「今」を
感じる事ができますし、昭和49
年からは始まったふるさと運動
や地区プライド運動等にも通じ
るものがあります。

昨年、NHKホールで開催さ
れました、全国町村長大会の講
演会の中で具体的町村名は伏せ
て話されましたが、福島県の町
村長さんは三島の話だよと声
をかけてくれました。

歴代の町長と職員、そして町
民の皆さんが楽にいただいた
町づくりの心を忘れる事なく、
不易流行の精神も取り入れなが
ら町づくりに邁進していきま
す。

奥会津の町村は、過疎高齢社
会地域の典型と言われておりま
す。この日記等で何度も記述し
ておりますが、「人口減少、そ
して土地の荒廃」、次に「集落
の弱体化」、最後に「ここに生
きるプライドの喪失」という連

その為には、情報の伝達も
ちろんですが、開放性や循環性
そして多様性の町づくりを図っ
ていきます。いま・ここネット
の出番です。

三島町長 矢澤 源成

三島町長 矢澤 源成